

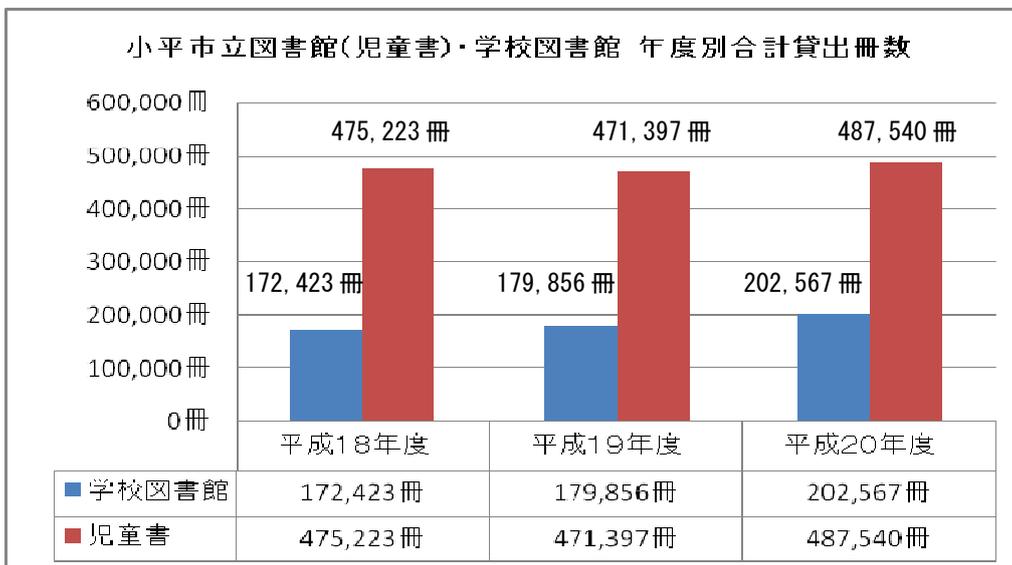
4 児童図書の貸出状況と児童・生徒の読書傾向

(1) 市立図書館の児童図書と学校図書館の図書の貸出冊数

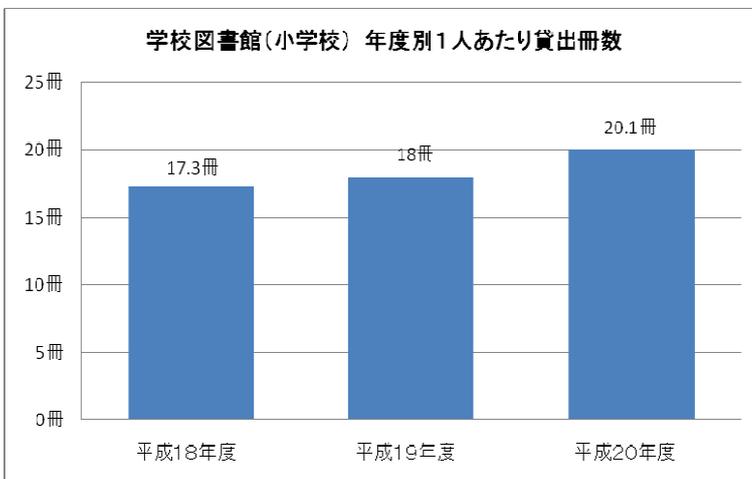
平成18年度から20年度までの3年間の子どもの本の貸出冊数を見ると、市立図書館全館の児童図書の貸出冊数は475,223冊から487,540冊と約1万2千冊の増となっています。一方市内27校の図書貸出冊数は、172,423冊から約3万冊増えて202,567冊と大きな伸びを示し、学校図書館の利用が大きく進んでいることが分かります。

市内の小学校19校の児童一人当たりの貸出冊数も、平成18年度の17.3冊から20年度は20.1冊に、中学校8校では生徒一人当たり1.6冊から3.2冊に伸びています。学校図書館に力を入れている学校のなかには、年に40.9冊という小学校もあり、子どもへの働きかけの大きさが分かります。

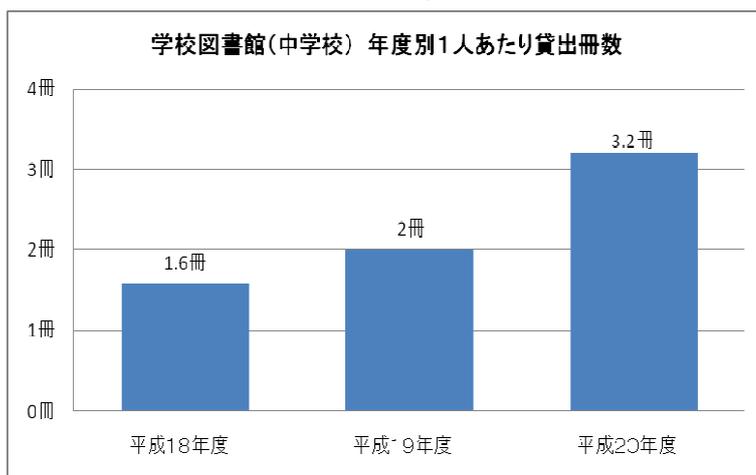
① 小平市立図書館の児童図書と学校図書館の図書の貸出冊数の推移



② 小平市内小学校の図書の貸出冊数の推移



③ 小平市内中学校の図書の貸出冊数の推移

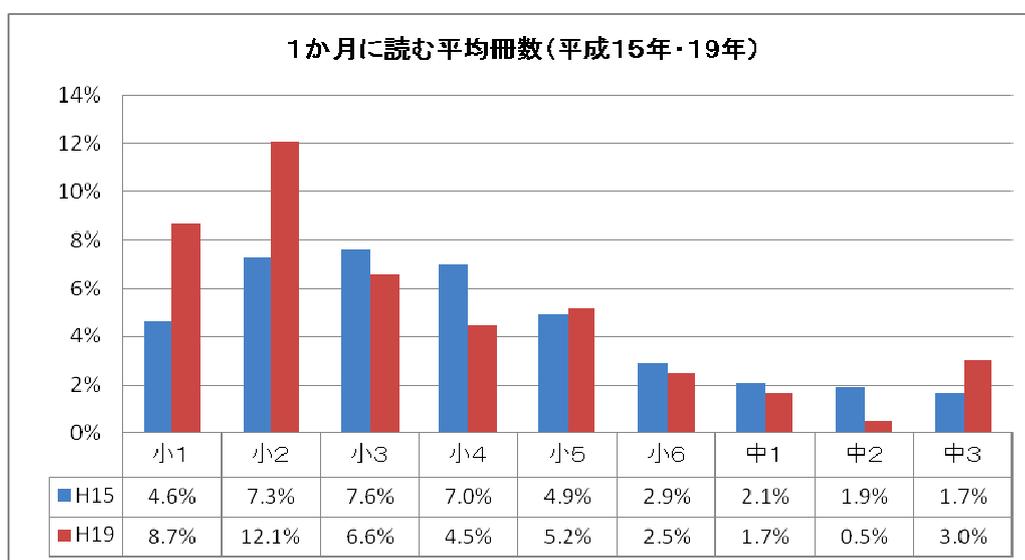


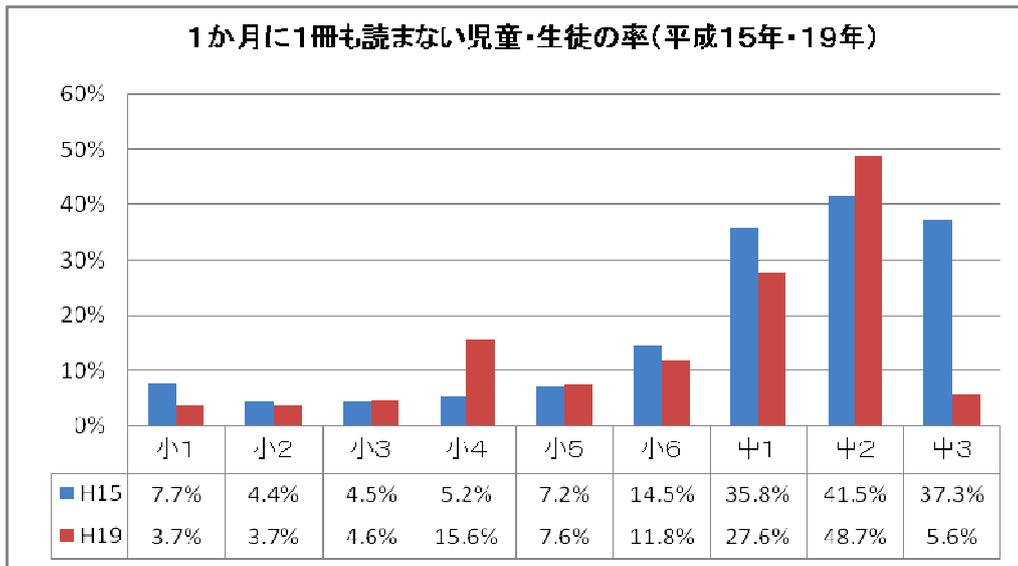
(2) 小平市の児童・生徒の読書状況

東京都教育庁による「児童・生徒の読書に関する調査」の平成15年度と平成19年度の状況です。平成15年度については市内の小学生8,849人、中学生3,616人を対象としており、平成19年度の調査では市内の小学生1,342人、中学生554人を対象に調査を行っています。

① 1か月に読む本の冊数

平成19年度には小学校全体で月に6.6冊読んでおり、平成15年度と比べると約1冊読む本が増えています。中学校全体では0.2冊の減となっており、1.7冊の本を読んでいます。また、1か月に1冊も本を読まない児童が多いのは、小学校4年生の15.6%、中学校では、2年生が48.7%と高くなっています。年齢が上がるにつれて読書離れがおきている状況と、ティーンズサービスの大切さが改めて必要なこととが数字に表れており、今後のサービスの重点課題です。

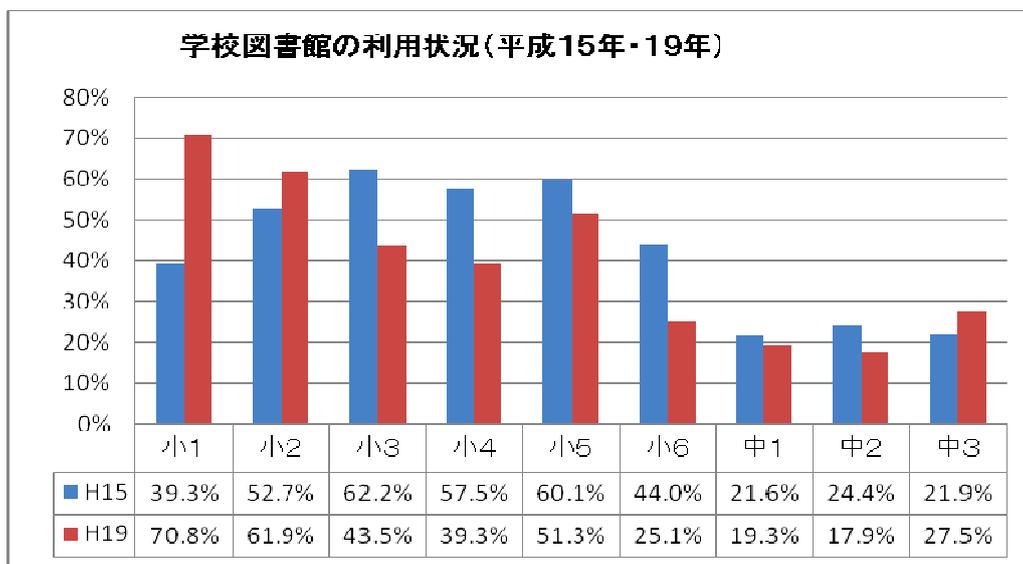


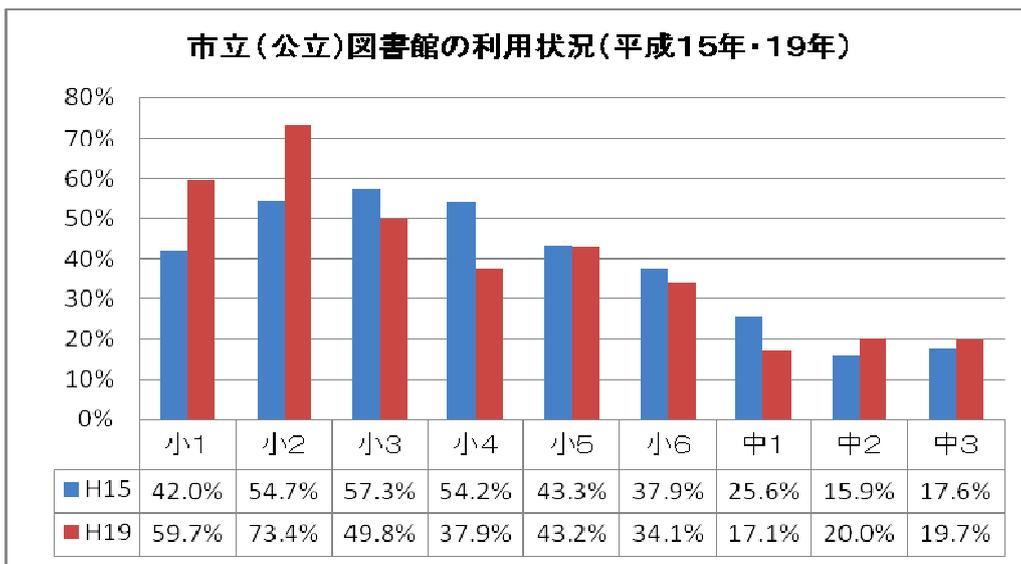


② 学校図書館と市立図書館の利用状況

学校図書館の利用率は、小学校1、2年生で60%を超えているものの、6年生では25%に、中学生になると更に値が下がっています。小学校の学校図書ボランティアや中学校の学校図書館協力員の活動、学校図書館システムを活用した蔵書検索や貸出返却手続きの簡素化といった活動や施策の中で、今後の推移を見守りたいと思います。

市立図書館の利用については、小学校1、2年生の利用率は高いものの学年が上がるに従って減少し、中学生の利用率は20%前後と低くなっています。地域の図書館で受け入れている図書館見学や職場体験などの機会を生かすとともに、中学年からの読書と図書館利用を支援するプログラムの改善・開発を図ることも子どもの読書推進に効果的と考えます。

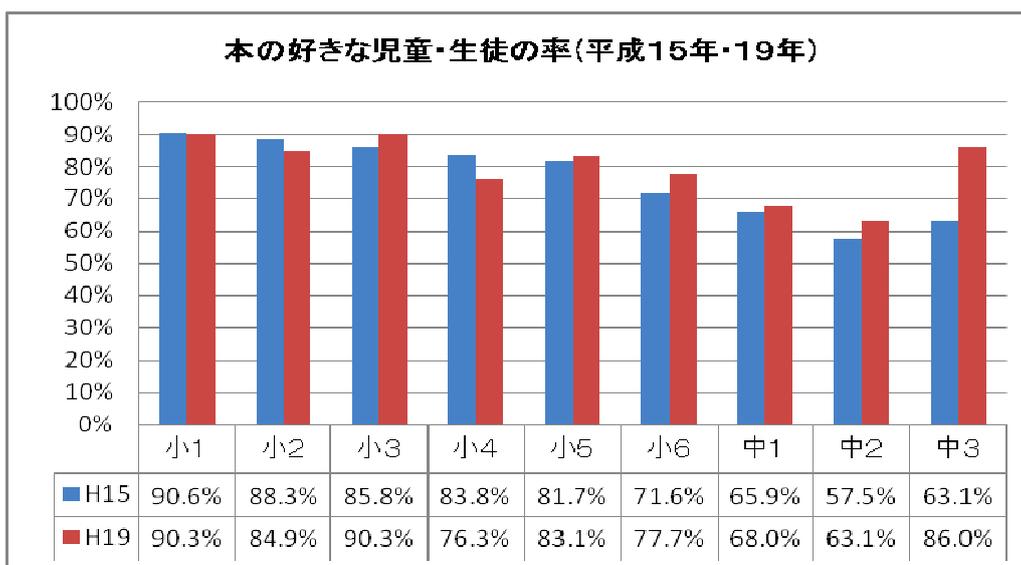




③ 本の好きな児童・生徒の率

本の好きな児童・生徒の率は、平成15年度、平成19年度ともほぼ同じ傾向を示しています。小学校の低学年では90%前後ですが、学年が上がり中学生になると低くなっています。しかし、平成19年度の中学生を見ると平成15年度より本が好きと回答している生徒が増えています。「朝読書」や中学校への学校図書館協力員の配置などにより、少しずつ効果が上がっていると考えられます。

この本が好きという子どもたちにどのように本を手渡していくのか、図書館、学校、地域、家庭が協力して、本の世界への入口へ導きたいものです。



5 子どもと読書を取り巻く状況

社会の情報化は急速に進み、テレビ、インターネット、パソコン、携帯電話などのメディアは、ますます発達し、子どもたちは、様々な情報を簡単に手にすることができるようになりました。このような急激な情報化と情報の氾濫による子どもたちの文字・活字離れ、読書離れは依然として懸念されます。

携帯電話の若年層への普及については、小学校（4年生以上）の児童の38.4%、中学生の66.4%が持っているということが東京都の調査※₃で明らかになっています。

また、ケータイ小説というジャンルさえ生まれ、中学生の読書にもこの傾向がうかがわれ、ケータイ小説の読者が生まれています。※₄

調べ学習・総合学習等で、子どもたちは簡便にインターネット上の情報を活用したりするなど、子どもと電子メディアやインターネットとの関わりが増えてきています。このような状況にあるだけに、より子どもの読書に対するきめ細かな働きかけが重要となってきます。

※₃ 子供のインターネット・携帯電話利用についての実態調査報告 東京都教育庁指導部 平成20年

※₄ 第54回 学校読書調査（毎日新聞社・全国学校図書館協議会）2009年

